

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【公表番号】特表2020-528138(P2020-528138A)

【公表日】令和2年9月17日(2020.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2020-038

【出願番号】特願2020-501172(P2020-501172)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

C 1 2 Q 1/6883 (2018.01)

【F I】

G 0 1 N 33/68

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

C 1 2 Q 1/6883 Z N A Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年2月26日(2021.2.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

成長分化因子15(growth differentiation factor 15; 以下、GDF15)タンパク質をコードする核酸配列の発現又はGDF15タンパク質の活性を測定する剤を含む非アルコール脂肪肝疾患(non-alcoholic fatty liver disease; NAFLD)における肝線維化の予測又は診断用組成物。

【請求項2】

前記GDF15タンパク質は、検体から分離された生物学的試料に由来する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記生物学的試料は、血液又は生検組織から得られる、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記GDF15タンパク質は、配列番号1のアミノ酸配列からなる、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記剤は、GDF15タンパク質又はその断片に特異的に結合可能な抗体である、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

次の段階を含む、非アルコール脂肪肝疾患(non-alcoholic fatty liver disease; NAFLD)における肝線維化の予防、治療又は改善候補物質スクリーニング方法：

被検試料を成長分化因子15(growth differentiation factor 15; GDF15)タンパク質で処理する処理段階；及び

前記 G D F 1 5 タンパク質の活性を抑制する被検試料を選別する分析段階。

【請求項 7】

前記 G D F 1 5 タンパク質は、配列番号 1 のアミノ酸配列からなる、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 8】

次の段階を含む、非アルコール脂肪肝疾患 (n o n - a l c o h o l i c f a t t y l i v e r d i s e a s e ; N A F L D) における肝線維化の予防、治療又は改善候補物質スクリーニング方法：

被検試料を成長分化因子 1 5 (g r o w t h d i f f e r e n t i a t i o n f a c t o r 1 5 ; G D F 1 5) タンパク質発現細胞で処理する処理段階；及び

前記細胞において G D F 1 5 タンパク質の活性を抑制する被検試料を選別する分析段階。

【請求項 9】

前記 G D F 1 5 タンパク質は、配列番号 1 のアミノ酸配列からなる、請求項 8 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 0】

本発明のさらに他の目的は、次の段階を含む、肝疾患予防、治療又は改善候補物質スクリーニング方法を提供することにある：

被検試料を G D F 1 5 タンパク質発現細胞で処理する段階；及び

前記細胞において G D F 1 5 タンパク質の活性を抑制する被検試料を選別する段階。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 7】

本発明のさらに他の態様は、次の段階を含む、肝疾患予防、治療又は改善候補物質スクリーニング方法である：

被検試料を成長分化因子 1 5 (g r o w t h d i f f e r e n t i a t i o n f a c t o r 1 5 ; G D F 1 5) タンパク質発現細胞で処理する処理段階；及び

前記細胞において G D F 1 5 タンパク質の活性を抑制する被検試料を選別する分析段階。